



# ボランティアバスケット

48号 平成25年3月

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 安佐南区ボランティアセンター

〒731-0194 広島市安佐南区中須1丁目38-13 (安佐南区総合福祉センター内)

TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013

E-mail [asami@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:asami@shakyohiroshima-city.or.jp)



## 安佐南区 災害ボランティアセンター 開設・運営シミュレーション を行いました！！

大規模な災害が発生した際には、被災者の生活支援を行う災害ボランティアセンターが安佐南区においても立ち上がることになっています。

災害ボランティアセンターを知っていただくために、平成25年3月8日(金)安佐南区総合福祉センター6階会議室にて、関係団体・区内大学・学(地)区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・ボランティアグループ・地域包括支援センター・公民館等約90名が参加し、安佐南区災害ボランティアセンター開設・運営シミュレーションを行いました。

このシミュレーションは、いざという時には、安佐南区に災害ボランティアセンターが開設・運営されることをまず知っていただくとともに、実践を通してその具体的な役割や機能を理解し、各関係者が連携し合うことを目的に開催されたものです。

DVD「市民の心 被災者とともに～被災者中心の災害ボランティアセンターとするために～」視聴と寸劇を通して、災害ボランティアセンターが立ち上がる仕組みや関係性を理解し、実際に、利用者、スタッフの両方の役を体験し、その体験をもとにスタッフミーティングも行いました。

安佐南区内の各機関・団体等が一堂に会することで共通理解ができました。災害時には緊密な連携へとつながる一歩となるでしょう。



(総務班・ニーズ把握班・ボランティア受付・マッチング班に分かれ実際にスタッフ、ボランティア、住民の役を体験する様子)

災害ボランティアセンターとは

被災された方が一日でも早く日常生活を再開されることを願い、支援しようとする人の思いと支援を受けたい人の思い(困りごと)を双方の思いを調整し、つなぐ働きをする拠点です

大切にしたい視点

- ♥ 「被災者主体」であること
- ♥ 「地元主体」であること
- ♥ 「協働」すること

# 南相馬市「土日お茶会サロン」での活動を通して

広島市被災者支援本部が募集した土日お茶会サロンに2月・3月に参加し安佐南区災害ボランティアセンター設立・運営シミュレーションにも参加した学生に感想・気づきを聞いてみました。



広島風お好み焼きを焼いています

2月8日～11日に、広島市被災者支援本部主催の南相馬市「土日お茶会サロン」でのボランティアで、この広島から福島に行ってみました。

「福島を忘れないで」、福島の方々は、忘れ去られることを恐れています。しかし、広島では、被災地の報道は少なくなってきており、状況を把握しにくい現状にあります。実際に福島の地に足を踏み入れると、そこには復興どころか、復旧すら進んでいない現実が広がっていました。行き場のない山積みの瓦礫、海にあるはずの船、曲がりくねったガードレールが、津波の悲惨さを物語っていました。その状況は、2年前の報道で見た被災地とそんなに変わりがないようでした。また、一見なにも被害のないように見える家屋が並ぶその町は、だれも住んでいない、住めないような放射能の数値の高い町でした。

広島に帰った後、「なにか現状を変える術はないのか」と自問自答を繰り返すものの、そこは政府レベルでしか動かない問題であり、自分の無力さをいやほど感じました。こんな自分になにができるのかと考えたところ、情報を発信していくことだという答えが出ました。私の感じたこと、学んだこと、福島の人々の言葉を、この広島で広めていくことで、同じ情報を持った仲間が増え、そこからまたさらに情報が拡散していくと思われまます。その情報を持った人々が増えれば増えるほど、行動力、影響力が増します。私一人だけでは成しえないことが、成されるかもしれない、その可能性にかけ、私は情報を発信していきます。(M. M)

お茶会サロンに参加してとにかく、「パワー」をいただきました。行くまでは、少しでも元気になってもらいたいななどと考えていたのに、私がパワーをいただくばかりでした。

レクリエーション等で、楽しんでおられる姿を見て嬉しかったのと同時に災害によって一人一人が何かしらを抱えておられると思うと、強く生きている姿に胸を打たれ、辛いことがあっても頑張っている人はたくさんいるということ、多くの人が遠くからボランティアとして訪れたり、手紙などの交流を通して「こんなことで負けないようにします。」と笑顔で言われる言葉に、なんて前向きなのかと感じました。

正直、被害状況を視察したときに、なにもない土地を実際に目の当たりにして、「ここを見て希望をいただけるのか」こんなに広い土地への地道な除洗作業はきりが無いのでは…とってしまった自分がいました。けれど、住民の方々は毎日不安やストレスの中、今できることを少しずつでもと行動を起こしています。地道な作業を繰り返し、福島(故郷)を取り戻そうとする姿を広島の人たちにも知ってほしいと思いました。

原発の必要性、子どもが受けている偏見、常日頃からの地域のつながりの大切さなど、これからしっかり向き合わなければいけない問題もたくさんあることを知りました。こうやって見ていくと、「今回は、福島でこのようなことが起こったが、いつどこで起こるかはわからない。今支援している側にいる人も、支援される側になるということを忘れてないで」という言葉は、全て人の心に留めてほしい言葉だと思いました。また、常日頃からの地域でのコミュニケーションが取れていなかったばかりに助かる命も助けられなかったと聞くと、いかに一人で生きることなどできないのか、いかに支え合うことが大切かを感じました。



ボランティアによるレクリエーション

今回の活動で出会った方々のお話に共通していたことは、「人とのつながりがどれだけ大切か」ということでした。日頃からの声かけも、一方通行ではなく、お互いが思っていることが大切だということ。自分が暮らす地域ではどうなのかと気にすることが必要です。決して他人事ではないということ、自分の立場で考えなければならない問題であるということ。広島の人々に感じてほしいです。(T. H)



# ボランティア連絡会 交流会を開催しました！



去る平成 25 年 2 月 22 日（金）に、安佐南区総合福祉センター6 階大会議室でボランティア連絡会交流会が開催されました。29 名の参加者で楽しく勉強になる交流会でした。

昨年の交流会で好評だった“ボランティアグループの活動体験！”を今年もボランティアさんの希望で同様の交流会を行ないました。今回の活動体験は、ガイドサークルむつみ会によるアイマスク体験、広島市要約筆記サークルおりづる安佐南支部による要約筆記体験、保健福祉課保健師の指導による健康体操、ティータイムには、アイマスクを付けて、お茶とクッキーを食べてみるなど盛りだくさんの体験でした。最後に、‘花は咲く’を全員で合唱しました。



手引きのやり方の説明を受けています



アイマスク体験中ちょっと怖そう！



声掛けしながら椅子への介助



“ひろしまじゃけん体操” やってます！



要約筆記についての説明



“速く・正しく・読みやすく” 内容を要約します

## 交流会参加者からの感想

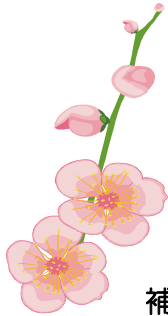
- ♥要約筆記、アイマスクも実体験が出来た事でいかに毎日をなんとなく生活していたか反省させられました。
- ♥体験を通してそれぞれのボランティア活動の大変さ、楽しさも知ることができ、有意義でした。
- ♥体験することで他のグループの内容が理解できました
- ♥相手に伝える事の難しさを自覚しました。この事は健常者にとっても大切なことだと思います。
- ♥要約用の携帯ホワイトボードを私も作りたい。日常の中に体験した事をいかせるといいなと思いました。
- ♥他のボランティアで体操を実践したい。地域に目が見えない人がいるので助けたいと思った。
- ♥障害がある方が日常生活の何に不自由を感じているのか知る事が出来た。



ティータイムでの様子



手話を交えての合唱♥交流会らしいですね



# ボランティア活動保険の更新手続きはお早めに！！



平成年 25 度の加入手続きが始まりました。お早目に更新手続きをお願いします。  
平成 24 年度にご加入いただいたボランティア活動保険の補償期間は 3 月末日迄です。

補償期間 : 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日  
(中途加入の場合は加入手続き完了日の翌日～平成 26 年 3 月 31 日)

《平成 25 年度保険料》

基本タイプ	Aプラン	300 円	Bプラン	450 円
天災タイプ	Aプラン	460 円	Bプラン	690 円

補償金額、保険料が変更になっています。必ずご確認ください。



問い合わせ先：安佐南区社会福祉協議会

## 特徴を活かしたボランティア活動が盛りだくさん!

囲碁・将棋・話し相手・手芸など「えっ！」と思われていることが、意外と求められています!

高齢者施設や個人の方から、こんな方はおられませんか?の相談の声があります。やってみようかなと思われた貴方ぜひボランティアセンターにご連絡ください



## 来てみませんか? ボランティアサロンへ

すでにボランティア活動をしている方も、これから何か活動してみようと思われている方も、ボランティアサロンで集い、みんなが笑顔になる場・輝く場所を作っていきませんか!おしゃべりの場でもあります。

何気ないおしゃべりからキラキラ輝く何かが見つかるかもしれませんよ!おしゃべりしに行こうかなと思われた方連絡くださいね!ボランティアサロンで待っています♡



## フラワーフェスティバルでのボランティア募集

2013 広島フラワーフェスティバルテーマ: “心に花を 咲かせる笑顔 平和な未来”  
毎年5月3・4・5日に、平和大通りで開催されていますフラワーフェスティバルで、お手伝いして下さるボランティアさんを今年も募集します!

- ① 障害者、介助者が参加するパレードの誘導整列支援
- ② ふれあい広場(餅つき、お好み焼き、わたがし、福引コーナー)
- ③ ふれあいステージの準備、片付け、出演団体誘導など
- ④ 介助・案内

興味、関心のある方は、お気軽に安佐南区社会福祉協議会へご連絡ください



掲載記事へのご意見・ご感想・各講座・募集などへの参加申し込みにつきましては、安佐南区社会福祉協議会までお問い合わせください。(TEL:831-5011 / FAX:831-5013)

安佐南区総合福祉センターへお越しの際には、なるべく公共交通機関をご利用ください。車でお越しの際は、第3駐車場のご利用をお願いします。